

- 技術者の継続教育 (Continuing Professional Development: CPD) とは、技術者一人ひとりが自らの意志に基づき、自らの力量 (Competencies) の維持向上を図るために行うもの*
- 多くの学会・業団体等において、技術者の能力の維持・向上を支援するため、継続教育 (CPD) の認定等が実施されている

※出所：土木学会HP (<http://committees.jsce.or.jp/opcet/>)

建設系CPD協議会の加盟団体

(公社)土木学会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(公社)日本技術士会、(一社)全国土木施工管理技士会連合会 ほか15団体

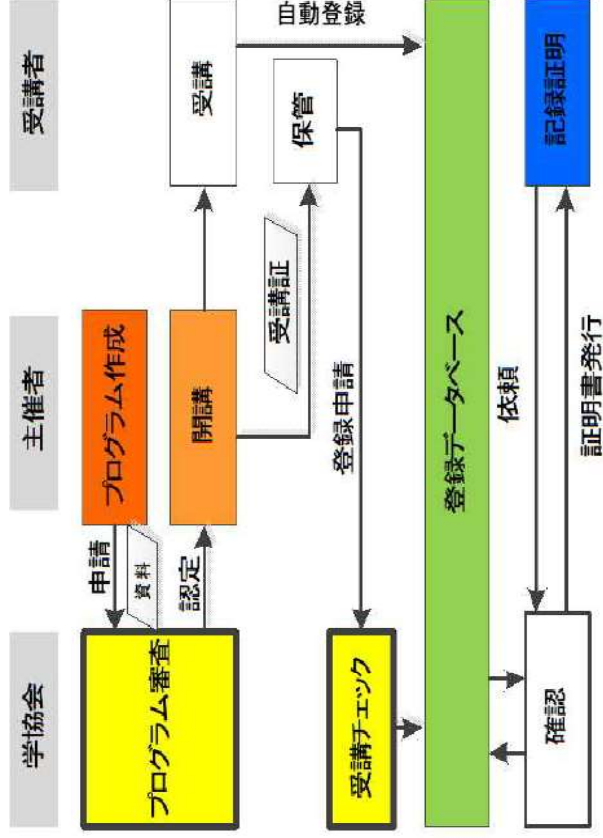
建築CPD運営会議の加盟団体

(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築学会、(公財)建築技術教育普及センター ほか6団体

建築設備士関係団体CPD協議会の加盟団体

(一社)建築設備技術者協会、(公財)建築技術教育普及センター ほか3団体
※R1.8現在

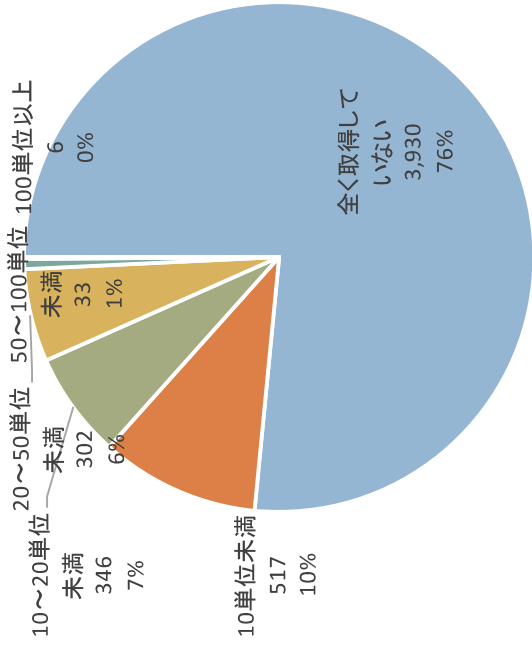
CPD記録の審査方式の例(入口審査方式)



【例】全国土木施工管理技士会連合会でCPDの対象となる学習プログラムの形態

- ① 講習会、研修、技術委員会・現場見学会、社内研修、監理技術者講習 等
- ② 監理技術者講習・施工監理講習会後の試験、土木検定(技術)
- ③ 技術論文、図書執筆・社内論文、公開技法等
- ④ 特許出願・実用新案出願
- ⑤ 表彰の受賞(全国技士会長等)
- ⑥ 全国技士会Web CPDS、インターネット学習

CPD単位の取得状況



監理技術者講習受講者へのアンケート結果
期間：H28.10～11月
回答数：5,511人